

山(山域・ルート)

大源太山・七ッ小屋山

【日時】 2006年10月22日

【メンバー】阿部、F、石川、建川、小川
(合計5名)

名)

【行動記録】

10月21日 大宮 19:00→谷川岳 PA

10月22日 谷川岳 PA5:00→大源太山

登山口 5:40~5:55→謙信ゆかりの道分

岐 6:20→大源太山山頂 8:50~9:20→七ッ小屋山山頂 10:35→謙信ゆかりの道

11:10→シシゴヤノ頭 12:00~12:15→登山口 14:20

登り2時間55分(大源太山)、1:55(七ッ小屋山)、下り3時間45分

【装備・食料等】

共同装備：ツェルト、テント、銀マット、ガスコンロ、コッフェル

個人装備：ヘッドランプ、雨具、防寒着、地図、朝食、行動食、非常食シュラフ、シュラフカバー、エアーマット

【感想】 19日午前5時、仮眠した谷川岳PAではガスが立ち込めていて天候が気になりましたが、関越トンネルを抜けるとガスもなく安堵しました。

登山口に到着それぞれ身支度をすませ出発。しばらくならかな道を行き、石伝いに川を徒渉してから徐々に急な傾斜が始まる。高度をかせぐと木々の背丈が低くなり、周りの気色が良く眺められるようになる。鎖を付けた岩を過ぎ、急な坂道を登ると大源太山山頂に到着。山頂は景色を遮るものもなく大パノラマを楽しめました。

山頂直下の七ッ小屋山へ向かう登山道は真新しい鎖が付いており、ここを過ぎて鞍部から眺める大源太山は綺麗に尖った形をしていました。

七ッ小屋山から謙信ゆかりの道へ向かう道は笹原を歩く道でしたが、ガスが立ち込めており風景を眺められなかったのが残念でした。謙信ゆかりの道は笹が刈られていましたが、整備されてから日が浅いようでやや歩き難く感じました。歩を進めるうちにガスは晴れシシゴヤノ頭で振ると、稜線を超えて山肌を下り迫って来るガスの様子はさながらナイアガラのような感じでした(映像でしか見たことはありませんが)。

シシゴヤノ頭からの下りはジグザグ道の急な下りで、かつ落ち葉で道も滑り易く難儀しました。途中に水場があり、これを過ぎると今朝通った分岐を経て登山口に到着。温泉で汗を流して帰路に着きました。

